

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【公開番号】特開 2005-214414 (P2005-214414A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-031
 【出願番号】特願 2005-12429 (P2005-12429)
 【国際特許分類】

F 1 6 L 37/38 (2006.01)

F 1 7 C 13/00 (2006.01)

F 1 6 L 37/23 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 37/28 E

F 1 7 C 13/00 3 0 1 C

F 1 6 L 37/22 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 13 日 (2007.12.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 1】

本発明は、迅速連結の雌部材に関する。本発明は、加圧下の液体を搬送する管を取り外し可能に連結する迅速連結部及び加圧下のガスを自動車に充填するこのような雌部材を有する装置にも関する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 2】

雄部材 B の本体 1 0 1 の外形は、軸線 $X_B - X_B$ を中心にしてほぼシリンダ状で円形である。部材 A , B が連結構造にある場合、この軸線 $X_B - X_B$ は、軸線 $X_A - X_A$ に一致する。部材 A と部材 B とを連結構造でロックする目的で、本体 1 0 1 は、加圧下のガスを流す導管 1 1 1 を形成しかつ玉 6 を収容するための溝 1 1 6 を有する。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

部材 A と部材 B とを互いに挿入する必要がある場合、これらの部材 A , B は、図 1 中の矢印 F によって示されたように移動される。このことは、図 2 の構造に到達することを可能にする。この場合、ヘッド 2 6 a が、導管 1 1 1 の端部 1 1 1 a 方向に突出する。この構成では、ベベル 2 6 b が、リング 1 0 2 を支持してこのリング 1 0 2 上に応力 F_2 を及ぼす。リング 1 0 2 の剛性がばね 3 の剛性よりも大きいために、このリング 1 0 2 は、ベベル 2 6 b 上に反作用 F_2 を及ぼす。この反作用 F_2 は、応力 F_3 に逆らっ

てバルブ 2 を押すことを可能にする。この場合のバルブ 2 は、図 2 の位置に到達させる。この位置では、矢印 E によって示したように、流路 2 4 , 2 3 が、加圧下のガスを導管 1 1 の上流部分から導管 1 1 1 に向けて流すことを可能にする。